

1、本園の教育目標

社会福祉法人あけぼの会の運営する諸施設は、児童福祉法及び就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律に基づき、全ての子どもが等しく豊かな愛情を持って育てられる環境を提供し、子どもの人権や主体性を尊重した 教育及び保育に積極的に取り組むものである。

それにあたっては、保護者や地域との連携はもとより、様々な体験活動を経験させる事の中で、一人ひとりの子どもの育ちを社会の宝として、生きる力の醸成を目的とする。

2、2021（令和 3）年度 法人重点項目を踏まえ、法人・各施設としてどのように取り組んだかの自己評価結果報告。

太字は、2021（令和 3）年度 法人重点項目です。青字は実施結果です。

① 新型コロナウイルスの感染症予防に引き続き努める。

結果>前年度から引き続き、コロナ対策に終始した。園児や職員の感染拡大防止のため「感染対策委員会（プロジェクトチーム）」を編成し、感染拡大の防止に努めた。令和 3 年度一年間で園児・職員を含む関係者のコロナ関連の対応が 1 件あり、対策を講じていたが 2021 年 12 月～2022 年 3 月にかけて感染が拡大し、登り（1 月 17 日）、第 2 登り（3 月 8 日）ともに 1 日休園せざるを得なかった。

② 宇治市全体の一斉入所が減少する中で、利用者のニーズや利用環境の変化に対する環境整備と、新しいサービスの提供を実施する。

結果>表紙の写真にある「やんちゃ広場」（2,345 m²）を開設し、外遊び運動場の拡充ができたことで、子どもたちが様々な運動遊びに挑戦していくための環境を整えることができた。また、保護者、園児や学童児の登降園時の安全を確保するために歩道の拡充とアスファルト舗装の整備を行った（「道草かいどう」）。ゆったりとした広さがあり、地域の小学生の登下校にも利用してもらい、地域の方々にも喜んでいただけている。

③ 職員の給与アップを、定昇 3,000 円を基本としてアップし、職員処遇では産休育休の取得や、有給の取りやすい環境整備を図る。

結果>令和 4 年 2 月から処遇改善Ⅲを全職員に支給している。正規職員は月額 9,000 円以上、非正規職員にも勤務時間数に応じて支給。産休育休取得者は令和 3 年度で 6 年連続、毎年 10 名以上が取得している。有給は、全職員に月一回取得してもらっている。また、全職員を対象に、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種時及び翌日に使用できるコロナワクチン有給及びオミクロン株の拡大時の令和 4 年 1 月から 12 月末までの期間使用できる 5 日間のコロナ有給を支給している。

- ④ イトーヨーカドー跡地のマンション隣接テナントビル内新園舎開設について、企業主導型保育事業への申請を行い、実施に向けて取り組む。

結果>工事が進み、第一期工事については令和5年3月に完成予定である。新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大やロシアのウクライナ侵攻により物資の輸送が滞り、工期が半年遅れることになった。そのため、令和5年の事業となっている。企業主導型保育事の申請は取り止め、登りこども園の第2分園として幅広い保育教育の実施を目指す。

- ⑤ 送迎バスの運行について増便を実施し、保護者のニーズに応える柔軟な園児・学童児の送迎運行と共に、地域の高齢者の利用も促す。

結果>令和3年度も前年度に引き続き事故なく運行できている。園バスによる園児の自宅送迎を朝夕実施(20名利用)、学童クラブ児の自宅送迎を夕のみ実施(22名利用)。ほーぷるのぼりの幼児利用を中心に、施設間を移動する定期便を運行し、屋外や体育館での遊びを日常的に利用する事が出来ている。地域の高齢者の利用は実施に至っていない。

- ⑥ モンキーシャトー、チキチキ広場、はしりっこ広場、のぼり・はだしっこ広場の拡充に続き、隣接する2,345㎡の茶畑購入により、学童用の園舎増築、子育て支援センター充実、園庭及び保護者向け駐車場拡張工事を行う。

結果>令和3年8月から実測2,895㎡(2,345㎡)の茶畑を「やん茶広場」として整備し、また、保護者用駐車場の拡張工事により28台分の増加ができた。学童用の園舎増築は実施できなかった。

- ⑦ ファームのぼりの利用が促進したため、第2ファームの充実も併せて取り組む。ファームの拡充により、期待以上の自然体験をすることが可能になり、引き続きより充実したものにしていく。

結果>やん茶広場の整備に伴い、第2ファームは広場に変化した。大型遊具を設置し、園児の外遊びの環境を整えた。

- ⑧ 教育コーディネーターによる教育の強化を図る。また、キャリアパス研修への参加や、新人職員の育成の充実を図り、提供する教育・保育の向上に取り組む。

結果>昨年同様、小学校と連携・強化の交渉をするも具体的な成果は得られなかった。また、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対策の為、京都府保育協会「京都保育人材キャリアパス」の研修がオンラインとなり、職員が就業中の午睡時間に受講可能となり、コロナ前と比較して5倍以上ほどの参加が可能となった。

⑨ ほーぷるハウスの一部改修により、学童の保育や勉強のサポート教室の拡充を図る。

結果>ほーぷるハウスの一部をリフォームし、学童クラブ児の学習塾スペースとして活用している。また、未就園児対象の親子クラブでは広場開放を実施している。

⑩ 学童の生活環境の充実を図るため、園舎を増築し、学童児が体育館で遊ぶスペースの拡張や、バスケットボール、サッカーなどの室内競技が充分に行える環境整備もする。

結果>体育館の階段を撤去してスペースを拡張したことにより、学童児がバスケットボールやドッジボールなどの室内競技が充分に行えるようになった。

以上